



効果的なスクールソーシャルワーク（SSW）のあり方研究会 —スクリーニング実施と評価を活用した SSW事業プログラムのさらなる発展—

2021年12月26日（日）

13:00-17:00（受付開始12:30）

内 容：～東北福祉大学 大島巖先生を迎えて～

◆中野澄 氏（大阪成蹊大学：元国立教育政策研究所）によるミニ講義

—学校における評価とは—

◆山野則子 国の動き（データベース構築とスクリーニング、SSWer）

スクリーニングシステムの実際—評価支援との関連—

JST・RISTE[※]の社会実装支援からの展開

◆大島巖研究チーム SSWerの質、事業の維持向上について

対 象： 教育委員会担当者、スクールソーシャルワーカー（SSWer）、教職員、ほか

2017年SSWがようやく法制化され、様々な子どもの問題解決にとってSSWの質の向上と充実が課題です。そのようななか、本研究会では子どもの最善の利益を考えるとともに、そこを担えるSSWの制度化と質の向上に長年取り組み国のガイドラインに本研究会で提案している内容が活用されています。現在、国に提案し動き始めているのが、スクリーニングです。2020年3月には、文科省がこれを取り上げて、山野研究室が作成したガイドをHPにアップし、全国教育委員会に通知され、2021年度にはモデル実施を進めています。スクリーニングを担う人材にはSSWerは欠かせないこともわかってきました。しかし、現場ではSSWerを活用することが難しい状況が続いており、どのようにすればSSWerを適切に活用できるのか、SSWerの成果を示すとともにどう評価するのか、どのような力量が必要なのか考えることも重要となっています。これらの現場の知恵を1, 2年で交代する組織のなかで持続可能なものにするために行う方法、そのワークを取り入れて検討します。文科省の方も参加くださいます。皆様のご参加をお待ちしています。

参加費：無料

場 所：Zoomを用いた遠隔実施。以下にお申込みいただくとZOOM案内をさせていただきます。

お申込先：eb-ssw@sw.osakafu-u.ac.jp（担当：山野研究室研究員 伊藤莉央）

※申し込み締め切り：12月21日（火）

※お名前・ご所属を明記してください。

主催：大阪府立大学21世紀科学研究機構スクールソーシャルワーク評価支援研究所

※本取組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」研究開発プロジェクト「すべての子どもの社会的孤立・孤独・排除を予防する学校を中心としたシステムの開発」として、および日本学術振興会科学研究費補助金「子どもの課題スクリーニングから支援・効果まで循環するシステム構築」（基盤研究(A)）の助成にて実施するものです。

